

## 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針(平成29～32年度)の平成30年度報告【概要版】

「Ⅳ 社会福祉法人との連携強化」などは、概ね順調に取り組んでいますが、「Ⅵ 人材育成・確保」や「Ⅷ 収入確保」の取組区分において、遅れや未着手の取組項目があるため、次年度以降は計画どおり進めていけるよう努めてまいります。【取組項目一覧は資料2参照】

- 1 目的・趣旨 本方針の進捗状況について、各年度の間中期と年度末に進捗状況の確認をし、予定どおり進捗していない場合は原因を徹底的に究明します。
- 2 進捗状況 平成30年度の進捗状況は、取組項目数42に対し、順調な取組みが20(47.6%)、遅れが見られる取組みが6(14.3%)、未着手の取組みが4(9.5%)となっています。【評価外12(28.6%)】

取組区分	取組項目数	進捗状況			
		順調	遅れ	未着手	評価外
I 協議体の再構築	3	2			1
II 地区部会への支援強化	7	4			3
III 実施事業の見直し	6	2			4
IV 社会福祉法人との連携強化	3	3			
V 区事務所の強化	4(内再掲2)	2			2
VI 人材育成・確保	6	3	3		
VII 支出削減	2(内再掲1)	1			1
VIII 収入確保	7	1	2	4	
IX 資金管理の強化	4	2	1		1
合計	42	20	6	4	12

### (1) 順調な取組みの主なもの

取組項目	計画		H30		H31
	H30	H31	実績	自己評価	取組みの方向性
No.19 社会福祉法人 との関係づくり	100%	-	市全体の社会福祉法人の全て (155/155法人 <sup>※3</sup> )を訪問し、 以下のような連携を図りました。 ・買物支援事業の実施 ・地区部会活動状況等の情報 提供 ・交流スペース活用 ・専門職講師派遣協力	計画どおり進捗しています。	引き続き、各法人のニーズの把握に努めるとともに、各法人の実情に合わせた社会貢献の取組みを検討します。

※3 同一法人が複数の区に施設を有している場合、区ごとに計上。

(2) 遅れの見られる取組みの主なものと理由

取組項目	計画		H30		H31
	H30	H31	実績	自己評価	取組みの方向性
No.34 受託事業からの収益確保	協議実施	協議実施	市への要望書（NO.16 の取組み）に取り上げたところ、前向きな回答を得て、話し合いを行いました。放課後児童健全育成事業では、受託者の努力の認定を始め、委託料積算に関する委託者との認識の隔たりが大きく、契約条件の具体的な改善には至りませんでした。	1 契約について平成31年度からの精算不要が実現するなど、一部改善が図られましたが、大きな進展には繋がっていません。	放課後児童健全育成事業について、テーマを収益確保だけに限定せず、より広範なテーマについて委託者と話し合う恒常的な場を設けることで合意しており、こうした場を通じて認識の隔たりを縮めてまいります。

○ 前述以外で遅れの見られる取組項目

No.22 人事考課制度の見直し

No.25 職務分類の適正化

No.27 研修計画の作成

No.29 共同募金増収に向けたアクションプランの策定

No.36 受託金収入の概算払い化

(3) 未着手の取組みと理由

取組項目	計画		H30		H31
	H30	H31	実績	自己評価	取組みの方向性
No.33 基金運営委員会の整備	○	○	未達成の1基金について未着手	運営委員会の設置にとどまらず、事業のあり方も含めた体系的な検討が必要ではないかと考えています。	事業のあり方も含めて体系的に検討します。

○ 上記以外で未着手の取組項目

No.30 千葉県共同募金会と連携した事業展開

No.32 共同募金の配分方針の明確化

No.35 助成制度の活用